

秘
農 林 水 産 省

統計法に基づく基幹統計
農 業 経 営 統 計



政府統計

統計法に基づく国の統計調査です。
調査票情報の秘密の保護に万全を期します。

農業経営統計調査

○年 営農類型別経営統計調査票 (個人経営体用 (詳細調査))

【記入上の留意事項】

◇オンライン調査も可能です。

1. ____年1月1日～ ____年12月31日の1年間について記入してください。
2. 調査項目欄には、右づめで記入してください。
3. 黒の鉛筆又はシャープペンシルを使用し、間違えた場合は消しゴムで消してください。
4. オンラインで回答される場合は、同封の「経営統計調査オンラインシステム操作手順書」に従って回答してください。

★数字は枠からはみ出さないように記入してください。

記入見本	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

★○印は記入見本を参考に記入してください。

記入見本	①
------	---

ご不明な点がございましたら、次の問合せ先までご照会ください。

【問合せ先】

☆ この調査は、統計法に基づく基幹統計調査です。
☆ この調査により報告された記入内容は、統計法により秘密が保護されます。

営農類型	指定品目名				調査区	客体番号
	都道府県	市区町村	旧市区町村	農業集落		
2020センサス番号						

【はじめに】

調査にご協力いただきまして、ありがとうございます。
本調査票の記入に際しては、次の点に留意してください。

- 損益計算書に係る記入欄は、青色申告決算書（農業所得用）の科目と同じ配列となっており、他の様式から転記する場合は、記入欄の配列が異なりますので該当する科目の記入欄へ転記してください。
- 営農の種類（畑作、酪農等）や農業以外に事業を行っているかどうかにより、記入する欄が異なる場合があります。

1 調査票の構成

区 分	説 明	対応ページ
【1】現況（共通項目）	青色申告の申請状況、農業従事者の状況等について記入してください。	3
【2】損益計算書	農業の収入や支出の状況について転記してください。	4、5
【3】貸借対照表	資産や負債の状況について転記又は記入してください。	6、7
【4】事業収支の概要	農業以外も含めた全ての事業収支の状況について転記してください。	8
【5】投資と資金調達の状況	農業に係る投資や資金調達の状況について記入してください。	8
【6】主要農業固定資産の状況	農業固定資産の保有状況について記入してください。	9
【7】土地面積	経営する土地面積の状況について記入してください。	9
【8】生産概況、農畜産物収入及び農作業受託収入	農畜産物の生産概況と販売収入、また農作業受託収入について記入してください。	10~13
【9】制度受取金・積立金等	国からの制度受取金等に係る状況等について記入してください。	14、15
【10】労働の概要	作業に従事した人数や労働時間に係る状況について記入してください。	16
【11】指定品目に係る労働の概要	指定品目がある方のみ記入してください。	17
【12】農業生産関連事業収支	農業生産関連事業を営んでいる方のみ記入してください。	18

2 「【3】貸借対照表」の転記に際しての留意点

「【3】貸借対照表」（6ページ）は、青色申告決算書の勘定科目から転記可能な様式となっています。一方で、青色申告であっても、貸借対照表の作成義務のない簡易簿記や現金式簡易簿記の場合、又は収支内訳書（白色申告）の場合には、資産や負債に該当する勘定科目を別様式（7ページ）に記入してください。

3 指定品目がある場合

畑作・露地野菜作・施設野菜作・果樹作・施設花き作経営においては、部門（品目）の経営実態を明らかにするために特定の品目を指定する場合があります。

本調査の担当から、指定品目があると説明があった場合、次の（1）～（4）に留意してください。

（1）損益計算書

「【2】損益計算書」（4、5ページ）の農産物の棚卸高、経費の一部項目、経費合計に、それぞれの勘定科目に占める指定品目の金額を割合で記入してください。

（2）指定品目の作付延べ面積、生産量、販売金額

「【8】生産概況、農畜産物収入及び農作業受託収入」（10～13ページ）に、指定品目の作付延べ面積、生産量及び販売金額をそれぞれ記入してください。

(3) 指定品目の制度受取金・積立金等

「【9】制度受取金・積立金等」(14、15ページ)に、指定品目の制度受取金、制度積立金の金額又は各合計に占める指定品目の金額を、割合で記入してください。

(4) 労働の概要

「【11】指定品目に係る労働の概要」(17ページ)に、男女別の労働時間のほか、作業別労働時間を記入してください。

4 農業生産関連事業がある場合

農業に関連した事業(農産加工、観光農園、貸し農園、農家民宿、農家レストラン等)を行っている場合には、「【12】農業生産関連事業収支」(18ページ)に記入してください。

《農業生産関連事業とは》

農業生産関連事業は、次に当てはまる農業以外の事業をいいます。

ただし、これらの事業活動が経営を別として営まれている場合には、記入する必要はありません。

区 分	説 明
農 産 加 工	・自家で生産した原材料を用いた農産加工品を、自家で販売している事業をいいます。 なお、自家で加工を行うものであっても最終的な商品として販売しない物(荒茶、白干し梅等)については、農産加工とはせず農業に含めてください。
観 光 農 園	・自家で生産した農産物について、観光客等を対象に、ほ場において収穫等の一部の農作業を体験させて代金を得ている事業をいいます
貸 し 農 園	・農地を、第三者を経由せず、農園利用方式等により農家以外の者に貸し付け、その利用料金を得ている事業をいいます。 なお、自己所有の農地を他の農家に貸し付けて収入を得ている場合や、市町村や農協など第三者に貸与している場合は該当しません。
農 家 民 宿	・旅館業法に基づき、旅館等の許可を得て、観光客等を宿泊させ、自ら生産した農産物や地域の食材を調理し、料理を提供して代金を得ている事業をいいます。
農家レストラン	・食品衛生法に基づき、飲食店営業又は喫茶店営業の許可を得て、自ら生産した農産物や地域の食材を用い、飲食を提供して代金を得ている事業をいいます。
そ の 他	・上記以外の農業生産関連事業をいいます(例:耕地を利用した太陽光発電)。

それでは、次の「【1】現況(共通項目)」から記入してください。

【1】現況(共通項目)

青色申告を行っている		はい	いいえ
認定農業者がいる		はい	いいえ
農業研修生の受け入れがある		はい	いいえ
経営主	性別	男	女
	年齢 期末(12月31日)時点		
直接販売を行っている		はい	いいえ
農業生産関連事業を行っている		はい	いいえ

「はい」の方は、右の設問にも記入してください。

農業研修生	人数(人)
外国人技能実習生	
日本人研修生	

「はい」の方

12ページ「3 直接販売」の記入をお願いします。

「はい」の方

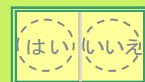
18ページ「【12】農業生産関連事業収支」の記入をお願いします。

【2】損益計算書

- 1 農業収支について、青色申告決算書（農業所得用）などを参照し、記入してください（収支内訳書（農業所得用）は、該当する科目の記入欄へ記入してください。）。
- また、指定品目がある場合は、それぞれの科目に占める指定品目の割合を記入してください。

科 目		青色申告決算書 No	収支内訳書 No	説 明	金 額 (円)				うち指定品目の割合(%)	
					億	万	千	百	十	
収 入 金 額	販 売 金 額	①	①	農畜産物の販売額						
	家事消費金額・事業消費金額	②	②	家計で消費した金額、農業以外の事業で消費した金額						
	雑 収 入	③	③	作業受託、経営所得安定対策交付金、価格補填金、受取共済金						
	小 計	④	④	販売金額、家事消費・事業消費金額、雑収入の合計						
	農産物の棚卸高	⑤	⑤	農産物の期首棚卸高						
	期 末	⑥	⑥	農産物の期末棚卸高（年内に精算され、精算できていない生産物を評価）						
	収 入 計	⑦	⑦	収入の合計（④－⑤＋⑥）						
経 費	租 税 公 課	⑧	㊦	農業に係る固定資産税、印紙税、組合・部会費、支払消費税						
	種 苗 費	⑨	㊧	種子、苗の購入費						
	素 畜 費	⑩	㊨	肥育又は育成の素畜やヒナの代金、種付料、登録料						
	肥 料 費	⑪	㊩	肥料の購入費						
	飼 料 費	⑫	㊪	飼料の購入費						
	農 具 費	⑬	㊫	取得価額が10万円未満の農業機械、農具等						
	農薬費・衛生費	⑭	㊬	農薬・家畜薬品等の購入費、共同防除の負担金						
	諸 材 料 費	⑮	㊭	生産に要したビニール、縄、おがくず等の購入費						
修 繕 費	⑯	㊮	農業機械、車両、建物等の修理費							
動 力 光 熱 費	⑰	㊯	水道料、電気料、燃油代金							

※ 飼料費から、配合飼料価格安定制度における補てん金分を除いていますか。



〔 配合飼料価格安定制度における補てん金を、飼料費から減額している場合は「はい」を、収入金額（雑収入）に仕訳している場合は「いいえ」を選んでください。 〕

- 2 貸倒引当金及び専従者給与について、青色申告決算書（農業所得用）の損益計算書の繰入額等欄などから転記してください。

科 目	青色申告決算書 No	収支内訳書 No	説 明	金 額 (円)				
				億	万	千	百	十
貸 倒 引 当 金	④②-④⑦	⑪	（繰入額－繰戻額）の金額					
専 従 者 給 与	④①	⑯	専従者給与（繰入額）の金額					

この欄には、対象となる指定品目
目が、それぞれの科目に占める
割合を記入してください。

指定品目名

科 目	青色 申告 決算書 No	収支 内訳書 No	説 明	金 額 (円)				うち指定 品目の収 支(%)	
				億	万	千	百 十		
経 費 （ 続 き ）	作業用衣料費	⑱	㊀	農作業に必要な衣類・靴・帽子等の購入費					
	農業共済掛金	⑲	㊁	共済掛金、農用車両の保険料・共済掛金					
	減価償却費	⑳	㊂	農用建物、構築物、農機具、生物等固定資産の減価償却費					
	荷造運賃手数料	㉑	㊃	販売に要したダンボール等の資材代金、運賃、検査料等					
	雇 人 費	㉒	㊄	雇用労賃及び賄い費・交通費					
	利子割引料	㉓	㊅	借入金利息、手形割引料、債務保証料					
	地代・賃借料	㉔	㊆	農地代、農用建物代金、農機具等の使用料、金、ライスセンター・共同選果場の料金					
	土地改良費	㉕	㊇	客土・揚排水施設等の維持管理費					
	雑 費	㉖	㊈	上記以外の事務費等一般管理費を含む。					
	小 計	㉗	—	上記租税公課～雑費までの経費の合計					
農産物 以外の 棚卸高	期 首	㉘	㊉	農産物以外の期首棚卸高					
	期 末	㉙	㊀	農産物以外の期末棚卸高					
経費から差し引く果樹牛馬等の育成費用	㉚	㊁	未成熟果樹、育成牛等の育成に要した費用						
経 費 合 計	㉛	㊂	㉗+㉘-㉙-㉚						

【3】貸借対照表

※ 税務申告に際し、貸借対照表を作成している場合はこのページ（6ページ）の表を、作成していない場合は右のページ（7ページ）の表を使用し、各勘定科目の金額を転記又は記入してください。

1 貸借対照表を作成している場合

資産と負債の状況について、貸借対照表から期末（12月31日）時点の金額を転記してください。記載の勘定科目以外の科目を設けている場合は、その科目及び金額を任意勘定科目欄に転記してください。

(1) 資産

科目	説明	期末(12月31日) (円)			
		億	万	千	百十
現金	農業経営の現金				
普通預金	農業経営の預金				
定期預金	農業経営の定期預金				
その他預金	積立金等				
売掛金	農畜産物販売金額の未収金				
未収金	農畜産物販売金額以外の未収金				
有価証券	農業経営所有の有価証券				
農産物等	農畜産物棚卸高(事業・家事消費費用を含む)				
未収穫農産物等	立毛作物の棚卸高				
未成熟の果樹育成中の牛馬等	果樹の育成費用、乳牛・肉用繁殖牛の育成費用				
肥料その他貯蔵品	貯蔵品(肥・飼料、農薬、燃料、諸材料等)の棚卸高				
前払金	費用、資産購入等の代金の前払金				
貸付金	農業経営の貸付金				
建物・構築物	農業経営用建物・構築物の未償却残高				
農機具等	農業用機械等の未償却残高				
果樹・牛馬等	果樹と牛馬の未償却残高				
土地	農業経営用の農地等の固定資産評価額				
土地改良事業受益者負担金	土地改良事業による受益者負担金				
	(任意勘定科目欄)				
事業主貸	農業所得の収入金額・負債とならない収入				
合計					

(2) 負債・資本

科目	説明	期末(12月31日) (円)			
		億	万	千	百十
買掛金	原材料等の購入代金の未払金				
借入金	短期借入金				
	長期借入金				
未払金	買掛金以外の未払金				
前受金	生産物の販売を前提にした予約金等				
預り金	専従者給与の源泉所得税の預り金等の債務				
	(任意勘定科目欄)				
貸倒引当金	売掛金回収不能に備えた積立金				
	(任意勘定科目欄)				
事業主借	農業所得の必要経費・資産とならない支出				
元入金					
青色申告特別控除前所得金額					
合計					

この欄は、農林水産省職員又は専門調査員が使用
しますので、何も記入しないで下さい。

統計調査員
使用欄

2 貸借対照表を作成していない場合(貸借対照表相当の勘定科目の把握)

農業経営における資産と負債の状況について、期末(12月31日)時点の金額を記入してください。必須調査項目を合算している場合は、相当額に按分して記入してください。

また、②及び③へ記入できる場合は②及び③の枝番、⑧～⑩に記入できる場合は⑪～⑬への記入は必要ありません。

(1) 資産に該当する勘定科目 (※①、②、③、④～⑦は、必須調査項目です。)

科 目		説 明	期末(12月31日) (円)			
			億	万	千	百 十
流 動 資 産	① 現 金	農業経営の現金を記入してください。				
	② 預 貯 金 等	本欄(預貯金等の合計)②が記入できる場合は、②-1～②-6の記入の必要はありません。				
	普 通 預 金 ②-1	農業経営の普通預金				
	定 期 預 金 ②-2	農業経営の定期預金				
	そ の 他 の 預 金 ②-3	積立金等				
	有 価 証 券 ②-4	農業経営所有の有価証券				
	前 払 金 ②-5	費用、資産購入等の代金の前払金				
貸 付 金 ②-6	農業経営の貸付金					
産	③ 売 掛 未 収 入 金	本欄(売掛未収入金の合計)③が記入できる場合は、③-1、③-2の記入の必要はありません。				
	売 掛 金 ③-1	農畜産物販売金額の未収金				
	未 収 金 ③-2	農畜産物販売金額以外の未収金				
固 定 資 産	④ 建 物 ・ 構 築 物	農業経営用建物・構築物等の未償却残高				
	⑤ 農 機 具 等	農業用機械等の未償却残高				
	⑥ 果 樹 ・ 牛 馬 等	果樹と牛馬の未償却残高				
	⑦ 土 地 (⑦-2以外) ⑦-1	農業経営用の農地等の固定資産評価額(土地改良事業受益者負担を含む。)				
土 地	貸 付 地 ⑦-2	貸付地の固定資産評価額				
資 産 合 計		①+②+③+④+⑤+⑥+⑦				

(2) 負債に該当する勘定科目 (※⑧～⑩、⑭は、必須調査項目です。)

科 目		説 明	期末(12月31日) (円)			
			億	万	千	百 十
負 債	⑧ 流 動 負 債					
	⑨ 買 掛 金	原材料等の購入代金の未払金				
	⑩ 短 期 借 入 金	経営のために銀行やJAなどからの借入金のうち返済期限が1年以内に到来する借入金				
	⑪ 未 払 金	買掛金以外の未払金				
	⑫ 前 受 金	生産物の販売を前提にした予約金等				
	⑬ 預 り 金	専従者給与の源泉所得税の預り金等の債務				
負 固 定 債	⑭ 長 期 借 入 金	経営のために銀行やJAなどからの借入金のうち返済期限が1年を超える借入金				
負 債 合 計		⑧+⑭				

【4】事業収支の概要

- 1 事業収支について、所得税の確定申告書Bを参照して、次の科目の金額を転記してください。

科目		申告書記号	説明	金額(円)			
				億	万	千	百
収入金額	事業等	ア	卸売業、製造業、小売業、林業、漁業など農業以外の事業の収入				
	農業	イ	農業収入				
	不動産	ウ	不動産収入				
	収入金額計	—	ア+イ+ウ				
所得金額	事業等	①	農業以外の事業の収入から、その事業に投じた費用を差し引いた金額				
	農業	②	農業収入から、農業に投じた費用を差し引いた金額				
	不動産	③	不動産収入から不動産に投じた費用を差し引いた金額				
	所得金額計	—	①+②+③				
経費	—	収入金額計(ア+イ+ウ) - 所得金額計(①+②+③)					

- 2 山林の所得がある場合には、申告書(分離課税用)第三表を参照して、次の科目の金額を転記してください。

科目	説明	金額(円)			
		億	万	千	百
収入金額(山林)	山林を売却、譲渡、伐採した際に生じた収入				
所得金額(山林)	山林収入から伐採などに掛かった費用を差し引いた金額				

【5】投資と資金調達の状況

- 1 経営する事業への投資の状況について、次の資産科目それぞれの1年間(決算期間)の購入金額の合計を記入してください。
また、記入した金額のうち農業に該当する割合を記入してください。

科目		説明	金額(円)				農業割合(%)
			億	万	千	百	
投資	土地	土地の購入金額					
	建物・構築物	建物・構築物の購入金額					
	自動車・農機具	自動車・農機具の購入金額					
	植物・牛馬	植物・牛馬の購入金額(資産形成のものに限る。)					

販売に供するための動物等は除く。

- 2 事業経営のため1年間(決算期間)に借り入れた金額の合計を短期・長期別に記入してください。
また、記入した金額のうち農業に該当する割合を記入してください。

科目		説明	金額(円)				農業割合(%)
			億	万	千	百	
短期借入金		返済期限が1年以内の借入金					
長期借入金		返済期限が1年を超える借入金					

【6】主要農業固定資産の状況

期末（12月31日）時点に所有する資産（農業に使用する資産）について、建物の面積を記入してください。

建物・構築物の状況

区 分	面積（㎡）
納 屋 ・ 倉 庫	
ガ ラ ス 室	
ハ ウ ス（ガ ラ ス 室 以 外）	
畜 舎 ・ 鶏 舎	

【7】土地面積

期末（12月31日）時点の土地の状況を記入してください。

区 分	説 明	経営面積(a)	
		経営面積(a)	うち借入地面積
田	田全体の面積と、このうち他から借り入れている面積		
畑（普通畑）	畑（樹園地、牧草地を除く）全体の面積と、このうち他から借り入れている面積		
樹園地	樹園地全体の面積と、このうち他から借り入れている面積		
牧草地	牧草地全体の面積と、このうち他から借り入れている面積		
採草放牧地	採草放牧地の面積		

区 分	説 明	面積(a)
貸付地（耕地）	他の経営体に貸し付けた耕地の面積（所有地分のみ）	

【8】生産概況、農畜産物収入及び農作業受託収入

1年間（決算期間）に販売目的で作付け（飼養）した農畜産物の作付延べ面積（飼養頭羽数）、生産量、販売数量及び販売金額についてそれぞれ記入してください。

なお、事業用（種子用、飼料用、自家製造加工品の原料用）に消費することを目的に作付（飼養）した農畜産物は、「生産概況（事業消費含む。）」欄に含めてください。

また、1年間（決算期間）の農作業受託収入について記入してください。

1 農産物

品 目		説 明	生産概況				
			作付延 田				
稲（食用）	水 稲	主 食 用 米	加工用米・新規需要米等以外の米				
		加 工 用 米					
		新 規 需 要 米 等	新規需要米（米粉用、新市場開拓用）及び備蓄米				
	陸 稲						
稲（飼料用）	飼 料 用 米	飼料用米（自給用を含む。）					
	W C S 用 稲	稲発酵粗飼料用稲（自給用を含む。）					
稲 わ ら ・ む か 等		稲わら、むか等を販売したもの					
麦 類	小 麦	小麦、二条大麦、六条大麦、はだか麦以外の麦（えん麦、らい麦等）は、その他の麦の欄に記入してください。					
	二 条 大 麦						
	六 条 大 麦						
	は だ か 麦						
	そ の 他 の 麦						
雑 穀	そ ば	そば類も含む。					
	他 の 雑 穀 （ そ ば 以 外 ）	とうもろこし、あわ、ひえ等の穀物					
豆 類	大 豆	乾燥子実。生（枝豆）は野菜					
	大 豆 以 外	小豆、ささげ、落花生などの乾燥子実					
い も 類	か ん じ ょ	種いも用、原料用かんしょも含む。					
	ば れ い しょ	種いも用、原料用ばれいしょも含む。					
工 芸 農 作 物	て ん さ い	寒冷地作物として中、高緯度で栽培される甘味資源作物（ビート・トップを含む。）					
	さ と う き び	熱帯を中心に栽培される甘味資源作物					
	そ の 他 の 工 芸 農 作 物	なたね、い草、こんにゃくいも、葉たばこ等					
そ の 他 作 物	飼 料 用 作 物	飼料用米、WCS用稲以外の飼料作物（自給用含む。）					
	そ の 他	芝、苗、苗木等（栽培きのご類を含む。）					

品 目	説 明	植 栽 面 積 (a)
茶	数量は、荒茶で換算して記入してください。	
果 樹	りんご、みかん、ぶどう等の果樹	

品 目	説 明	作付延べ面積		販売金額（円）				
		延べ面積	単位	億	万	千	百	十
野 菜	露 地	露地で生産した野菜		a				
	施 設	施設で生産した野菜		m ²				
花 き	露 地	切 り 花	露地で生産した花き（鉢植えの花木を含む。）		a			
		鉢 物			a			
	施 設	切 り 花	施設で生産した花き（鉢植えの花木を含む。）		m ²			
		鉢 物			m ²			

2 畜産物

品 目		説 明	生産概況 (事業消費含む。)				
			生産量 (kg)				
酪 農	生乳	自家で飼養する乳牛から搾乳して生産したもの					
	搾乳牛	搾乳を行った牛					
	自家生産乳牛等	自家で生産した乳牛 (F1:交雑種、ET:受精卵移植を含む。)、搾乳牛、乳廃牛					
品 目		説 明	飼養頭数 (月平均)				
肉 用 牛	繁殖牛 (子とり)	繁殖雌牛	繁殖用の雌牛				
		自家生産和牛等	自家で生産した和牛又はF1クロス牛、繁殖用育成牛、廃用牛				
	肥育牛	肉専用種	肉専用種の牛				
		乳用種	乳用種の牛				
		交雑種	交雑種の牛 (F1クロス牛を含む。)				
品 目		説 明	飼養頭数 (月平均)				
養 豚	繁殖雌豚	繁殖雌豚					
	肥育豚	肥育用の豚					
	肉豚	肉用の豚、廃用した豚のうち販売した豚					
	子豚	肥育用、繁殖用とも畜として販売した子豚					
品 目		説 明	飼養羽数 (月平均)				
採卵養鶏	採卵鶏	採卵用の鶏(必ずしも、その他畜産物も含める。)					
	鶏卵	採卵用の鶏から生産される卵(正常卵以外も販売したものも含む。)。また、販売金額には、廃鶏も含める。					
品 目		説 明	飼養羽数 (月平均)				
ブロイラー養鶏	ブロイラー	ブロイラー、ブロイラーの雛(地鶏は含まない。)					
品 目		説 明	飼養羽数 (月平均)				
そ の 他	きゅう肥(ふん尿)	きゅう肥として販売したもの(自給肥料としたものは含まない。)					
	その他畜産物	地鶏、綿羊、うずら、やぎ、養蚕など					

3 直接販売

販売金額のうち、自ら生産した農産物を、実需者(小売業、食品製造業、外食産業等)や、消費者に直接販売(自営直売所、その他直売所、インターネット等)して得た金額を記入してください。

また、直接販売の販路別の金額割合を記入してください。

(1) 直接販売の金額

金額(円)	億	万	千	百	十	金額での記入が難しい場合	販売金額に占める割合(%)
-------	---	---	---	---	---	--------------	---------------

この欄には直接販売で得た販売金額を記入してください。

この欄には4ページの販売金額に占める直接販売の割合を記入してください。

(2) 販路別金額割合

直接販売(全体)	小売業者	食品製造業・外食産業	消費者に直接販売				その他
			自営直売所	その他直売所	インターネット	他の方法	
%	%	%	%	%	%	%	%
100							

この欄には直接販売の販路別の金額割合を合計して100%になるように記入してください。

農畜産物収入	
販売頭数	販売金額（円）
	億 万 千 百 十
	億 万 千 百 十
販売頭数	販売金額（円）
	億 万 千 百 十
販売頭数	販売金額（円）
販売金額（円）	
	億 万 千 百 十
販売羽数（年間）	販売金額（円）
販売金額（円）	
	億 万 千 百 十



4 農作業受託収入

区分	作業内容	収入金額（円）
農作業受託収入		億 万 千 百 十

【通信欄】
 1年の中で、農畜産物の生産や販売で特徴的なできごとがあれば、記入してください。
 （例：市場価格は好調だったが、病気のため廃棄が多くなり、生産量に比べて金額が少なかった。）

【9】制度受取金・積立金等

農業に関するもので、受け取った制度受取金、共済金等を「制度受取金等」欄に、支払った制度積立金、共済掛金等を「制度積立金等」欄に記入してください。

1 共通

区 分	制度受取金等 (円)				制度積立金等 (円)			
	億	万	千	百十	億	万	千	百十

2 稲、畑作物等関連

区 分	制度受取金等 (円)				制度積立金等 (円)			
	億	万	千	百十	億	万	千	百十

3 園芸作物関連

区 分	制度受取金等 (円)				制度積立金等 (円)			
	億	万	千	百十	億	万	千	百十

3 園芸作物関連（続き）

区 分	制度受取金等（円）				制度積立金等（円）			
	億	万	千	百十	億	万	千	百十

4 畜産関連

区 分	制度受取金等（円）				制度積立金等（円）			
	億	万	千	百十	億	万	千	百十

5 その他

区 分	制度受取金等（円）				制度積立金等（円）			
	億	万	千	百十	億	万	千	百十

指定品目の制度受取金・積立金等

指定品目名

いも類、茶、果樹、野菜（露地・施設）又は施設花きの指定品目がある場合は、その品目に係る制度受取金・積立金等を記入してください。

制度受取金等（円）

制度積立金等（円）

億	万	千	百十	億	万	千	百十

制度受取金・積立金等の各合計に占める割合を記入する場合は、こちらに記入してください。

指定品目に係る
受取金等
割合(%) 積立金等
割合(%)

--	--

【10】労働の概要

1年間（決算期間）に事業に従事した者の性別、家族・雇用の別、労働時間について記入してください。なお、年齢は期末（12月31日）時点の年齢を記入してください。

常用雇用者：期間を定めずに雇用している者又は1か月以上の期間を定めて雇用している者
臨時雇用者：1か月未満の期間を定めて雇用している者又は日々雇用している者

(1) 家族・常用雇用者労働時間

区 分	性 別		年 齢	家族・雇用の別			農 業 労働時間 (時間)	農 業 労働時間 (時間)	農 業 労働時間 (時間)	農 業 労働時間 (時間)
				家族	常用雇用者					
					7か月 未満の 雇用者	7か月 以上の 雇用者				
1	2	3	(時間)	(時間)	(時間)					
経 営 主	(男) (女)	歳								
従事者 ①	(男) (女)	歳	1	2	3					
従事者 ②	(男) (女)	歳	1	2	3					
従事者 ③	(男) (女)	歳	1	2	3					
従事者 ④	(男) (女)	歳	1	2	3					
従事者 ⑤	(男) (女)	歳	1	2	3					
従事者 ⑥	(男) (女)	歳	1	2	3					
従事者 ⑦	(男) (女)	歳	1	2	3					
従事者 ⑧	(男) (女)	歳	1	2	3					
従事者 ⑨	(男) (女)	歳	1	2	3					
従事者 ⑩	(男) (女)	歳	1	2	3					
従事者 ⑪	(男) (女)	歳	1	2	3					
従事者 ⑫	(男) (女)	歳	1	2	3					
従事者 ⑬	(男) (女)	歳	1	2	3					
従事者 ⑭	(男) (女)	歳	1	2	3					
従事者 ⑮	(男) (女)	歳	1	2	3					

注： 事業に従事した者とは、農業や農業以外の事業（林業、アパート経営、その他）に従事した者をいいます。

(2) 臨時雇用者労働時間

区 分	人 数 (人)	農 業 労働時間 (時間)	農 業 労働時間 (時間)	農 業 労働時間 (時間)
男				
女				

【11】指定品目に係る労働の概要

(指定品目がある方のみ記入してください。)

1 家族・雇用者別労働時間

指定品目について、農作業に係る労働時間を男女別・労働区分別に記入してください。

指定品目名

区 分	男 (時間)	女 (時間)
家 族		
雇 用 者		

2 作業別労働時間

指定品目について、次の農作業区分に従事した作業別労働時間を記入してください。

区 分	説 明	作業別労働 (時間)
作業別労働時間計	指定品目の農作業に係る労働時間の計	
種子予措・育苗	選種、浸種、種子消毒、催芽、育苗	
耕うん施肥 (基肥・追肥)	耕起、整地、畝立て、マルチ、基肥の配合、施肥、追肥 など	
は種・定植 整枝・せん定	は種、定植、覆土、整枝、せん定、誘引、新梢管理 など	
除草防除	作付ほ場の中耕除草、除草剤散布、農業散布、鳥獣害対策 など	
授粉・摘果	授粉、摘花、摘房、摘粒、摘果、葉つみ、ジベレリン処理 など	
生育管理	かん排水、けい畔の草刈り・除草剤散布、ビニール張り など	
収穫・調製	収穫、結束、乾燥・調製、仮の収納場所への運搬 など	
包装・荷造り	包装、荷造り作業	
搬出・出荷・販売	該当農産物の搬出作業、出荷作業、販売に係る労働	
経営管理・ 間接労働	農機具修繕、資材等の調達、集会出席、技術習得、簿記記帳 など	

【12】農業生産関連事業収支

- 1 農業生産関連事業の収入金額を記入してください。金額での記入が難しい場合は、割合を記入してください。
 また、農業生産関連事業の収入金額が税務申告の農業収入に含まれる場合は、「はい」を選択してください。

金額での記入が難しい場合、この欄に「【4】事業収支の概要」（8ページ）の「収入金額計」に占める割合を記入してください。

区 分	収入金額(円)	割合 (%)	農業収入に含まれる
農業生産関連事業収入	億 万 千 百 十		はい

- 2 農業生産関連事業の支出金額を記入してください。金額での記入が難しい場合は、割合を記入してください。

金額での記入が難しい場合、この欄に「【4】事業収支の概要」（8ページ）の「経費」に占める割合を記入してください。

区 分	支出金額(円)	経費割合 (%)	割合 (%)
農業生産関連事業支出合計	億 万 千 百 十		
自家農畜産物	材料費のうち、自らが生産した農畜産物		
雇 人 費	事業に従事した者の労働時間分		
減 価 償 却 費	事業で利用した設備、施設等の減価償却費		

この欄には、「農業生産関連事業支出合計」に占める割合を記入してください。

調査は以上で終了です。ご回答いただき、ありがとうございました。